

平成 22 年度 事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

学校法人 清泉女子大学

学校法人清泉女子大学 平成22年度 事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(1) 清泉女子大学

文学部

日本語日本文学科
英語英文学科
スペイン語スペイン文学科
文化史学科
地球市民学科

大学院 人文科学研究科

言語文化専攻（修士課程）
思想文化専攻（修士課程）
地球市民学専攻（修士課程）
人文学専攻（博士課程）

2 学部・学科等の学生数の状況（平成22年5月1日現在）

(1) 文学部

(単位：人)

学科 学年	日本語日本文		英語英文		スペイン語スペイン文		文化史		地球市民		計	
	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員
1	106	80	129	110	62	50	117	90	72	60	486	390
2	87	80	119	110	57	50	106	90	73	60	442	390
3	95	80	134	110	68	50	105	90	72	60	474	390
4	110	80	145	110	67	50	123	90	66	60	511	390
計	398	320	527	440	254	200	451	360	283	240	1,913	1,560

(2) 大学院 人文科学研究科

(単位：人)

専攻 学年	言語文化		思想文化		地球市民学		人文学		計	
	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員	在籍者数	定員
1	5	6	3	6	3	5	1	5	12	22
2	6	6	7	6	0	5	3	5	16	22
3	—		—		—		5	5	5	5
計	11	12	10	12	3	10	9	15	33	49

3 役員・評議員の人数（平成22年5月1日現在）

(1) 役員（理事定数9人～15人、監事定数2人）

[現員] 理事 14 人（うち、常勤理事6人（理事長1人を含む））
 監事 2 人（うち、常勤監事0人）

(2) 評議員（評議員定数19人～31人）

[現員] 評議員 31 人

4 教職員の人数（平成22年5月1日現在）

(1) 教員

(単位：人)

専任				兼任	合計
教授	准教授	講師	計		
34	8	10	52	216	268

(2) 職員

(単位：人)

区分	人数
専任職員	46
嘱託職員	7
臨時職員	76
計	129

2 平成22年度事業報告

IV-1. 学習と教授

(1) 教育研究組織

- ・図書館・情報環境センターの連携について検討を行い、特に学生の教育支援に関して推進するための連携体制を整えた。
- ・カトリックセンターとボランティアセンターの協力体制を推進するため、両センターの構成員からなる清泉女子大学カリタス委員会を設置し、活動を開始した。
- ・生涯学習センターの活動を充実させるため、人文科学研究所・キリスト教文化研究所・言語教育研究所の所長を生涯学習委員に加えた（平成 23 年度から実施）。

(2) 教員組織と教員人事

- ・日本語教員課程の専任教員を採用し、日本語教員課程の運営組織を学科と分離した（平成 23 年度から実施）。

(3) 教育内容と方法

- ・学士課程教育の充実を図るため、カリキュラム検討委員会を設け、ジェネリックスキルを育成する科目を設置することを中心に、平成 25 年度の実施を目標に検討を開始した。
- ・大学院の理念、教育目標、教員組織等について検討を開始した。

(4) 学生支援

- ・Web 履修登録を開始した。
- ・1 号館他の改修に際して、学食の改善に関する詳細な検討を進めた（平成 23 年度に改修工事実施予定）。
- ・学生の課外活動等における事故やけが等による緊急事態に対応するため、職員の遅番・休日勤務体制を整備した。

(5) 学生の受け入れとキャリア支援

- ・入試課の専任職員を増員し、入試担当部署の強化を図った。

(6) 国際交流の推進

- ・学務との連携を強化し、留学生受け入れ態勢を整備するために、組織の改編を行い、専任の職員及びカウンセラーを配置した（平成 23 年度から）。
- ・タイのアサンプション大学で開催されたアジア・カトリック大学連盟（ASEACCU）会議に、学生と教員が参加した。

(7) 地域との連携の強化

- ・品川区と連携して「地域協力演習」を共通教養科目に開講し、品川区立小学校のスマイルスクール（学童保育）でのボランティア活動を通じて学生が学ぶ機会を設けた。

IV-2. 経営・管理

(1) 教育研究環境

1-2. 主としてハード面での教育研究環境整備

- ・1号館2号館等改修委員会を発足させ、1号館及び2号館の改修計画案を策定した。
- ・本館022教室及び1階ホールの机、椅子、テーブル等を新調したことにより、さらに多目的利用を可能にし、収容能力の向上に繋がった。

1-3. 学生・教職員の健康と安全配慮からの環境整備

- ・職員の職場環境の現状把握及び改善のため、衛生委員会による職場巡視を月1回実施した。この結果、①情報環境センター事務室内のサーバーを移設したこと、②2号館1階に入試課用に倉庫を新設し資料等を移したことにより、それぞれの職場環境の改善を図り、業務の向上に繋がった。

(2) 管理経営と教育の質保証

- ・学内理事の役割分担及び学外理事の業務サポート分野を定め、経営に関わる体制を明確にした。
- ・事務の効率化、IT化を進めるため、「統合電算化推進会議」、「同タスクフォース」を設置し、具体的な活動を開始した。

IV-3. 財務

- ・帰属収入に対する人件費の割合（50%台）に配慮した教職員の短期・中期・長期的な人事計画の検討を開始した。
- ・職員人事制度検討チームにおいて職員の教育研修制度の検討を重ね、体系的な教育研修プログラムを計画的かつ継続的に実施するため、「職員教育研修規程」を平成23年4月1日付で制定した。
- ・物品調達の際に可能なものは、相見積もりをとり経費削減を推進した。また、本学の物品調達の現実に見合った規程の検討を開始した。
- ・教職員に対する1号館2号館等改修計画案の説明会の際に、本学の財務状況について合わせて説明して共有化をはかった。

IV-4. 自己点検評価

- ・大学の諸活動について自己点検評価を行い、その報告書を、認証評価を受けるために大学基準協会に提出した。

IV-5. その他

- ・ 大学創立 60 周年記念行事を一年間にわたり実施して、大学ホームページ等にその行事内容を掲載して内外に広報した。
- ・ 品川区が主催する「第 3 回社会貢献活動しながわ 2011」（社会貢献活動見本市）に、学生団体である BLUE BIRD・絵本ボランティアグループ大空、と共にボランティアセンターが参加し、品川区内の社会貢献活動を行っている団体や、地域の方々との交流を図った。

以 上